

## ふるさと小清水への想い

「東京こしみず会」第23回定期総会・懇親会が開催されました。

年に1度、「ふるさと小清水」を想い・懐かしむ会員の皆さんが集う「東京こしみず会」の総会・懇親会が、5月15日（日）東京都内で開催されました。

23回目となる今年は、小清水町からの出席者13名を含め総勢107名が参加されました。

総会で事業報告や活動方針、収支決算などが審議された後に懇親会が開催され、再会を果たした会員の皆さんは、さながら同窓会のような雰囲気の中、近況報告や思い出話などに花を咲かせておりました。

小清水町の特産品が当たるビンゴゲームでは、会場内に「ビンゴ!」の音が飛び交い、大変な盛り上がりを見せるなど、終始笑顔に包まれた懇親会は、来年の再会を約束して盛大のうちに閉会となりました。

「ふるさと小清水」を想う会員の皆さんが、故郷を懐かしみ、絆を深める貴重な場となっている「東京こしみず会」が、これからも末永く続くことをお祈りします。



△ふるさと談義で盛り上がる懇親会



△ビンゴゲームで盛り上がる会場

## 東日本大震災被災地に向け募金活動!

小清水小・中学校の児童生徒、義援金を募る

小清水小学校では児童会が中心となり、4月22～28日の間、児童玄関前にて募金活動を行いました。

石丸児童会長は「今回の大きな地震で、一生懸命生きている人たちのために、何か私たちが応援できることはないだろうか」と考え、募金活動を行いました」と児童会の取組みの熱意を話してくれました。児童たちが募った義援金はPTAを通じて被災地へ送られます。

また、小清水中学校の生徒たちは、4月7～28日の間、生徒会が中心となり募金活動を行いました。今回の義援金と、震災前から活動していた「一円玉募金」を合わせて被災地へ送りました。山本生徒会長は「私たちに想像することができない、悲しいこと・つらいこと・驚きがあったと思います。私たちでは何もすることが出来ないけれども、少しでも力になればと思います募金をはじめました」と募金活動への思いを話してくれました。



△小清水小学校児童会の皆さん



△中学校募金活動の様子



## 岩手県陸前高田市へ派遣 小清水赤十字病院3名の人的支援

小清水赤十字病院は、東日本大震災の被災地へ人的支援として職員の派遣を行いました。

4月28日（金）に、瓢子看護師、5月6日（金）に、安藤事務員、5月9日（月）には、堀田看護師が発派しました。

瓢子看護師は、心のケアは

重要で、良いケアをしてきます。」と出発に先立ち抱負を述べられ、3名の皆さんは、それぞれ岩手県陸前高田市の被災地において、被災された方々の心のケアや、必要とされる医療の提供など被災地支援に尽力されました。



## じゃがいも街道を清掃 春のゴミゼロ作戦が行われました。

5月21日（土）、ゴミゼロ運動推進委員会会長 服巻昌人（の）主催により、「ゴミゼロクリーン作戦」が町道21線じゃがいも街道で行われました。

小雨が降るあいにくの天気でしたが、44名の町民や各団体の皆さんにボランティアとしてご協力いた

き、1時間余りで空き缶やペットボトルなどのポイ捨てされたごみをトラック1台分拾いました。

これからもきれいな町づくりのために、ポイ捨てや不法投棄を「しない」「させない」「許さない」運動を推進していきますので、ご協力をお願いします。

## 世界赤十字デーキャンペーン開催

応急手当・子供用救護服試着体験!

5月1日からの1ヶ月間を「赤十字運動月間」として、全国各地の赤十字関連施設で様々なイベントやキャンペーンを展開しています。小清水赤十字病院では、5月21日（土）小清水町パークゴルフ場・愛ホールにて、世界赤十字デーキャンペーンを開催しました。

本年度は、例年行われていますパークゴルフ大会のほか、災害救護活動における救護所内の様子を展示、応急手当についての講習や健康相談、血糖値測定等も行われました。

パークゴルフ大会終了後の昼食会では、小清水町赤十字奉仕団の皆さんによるハイゼックス米とカレーの炊出しが用意され、パークゴルフ大会参加者や来場した多くの皆さんに振る舞われました。

